

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 8 月 20 日

上場会社名 常磐興産株式会社

（コード番号：9 6 7 5 東証第一部）

（URL <http://www.joban-kosan.com/>）

代表者 役職名 代表取締役社長 斎藤 一彦
問合せ先責任者 役職名 取締役管理本部長 秋田 龍生 TEL(03)3663-3415

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期業績の概要（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 売上高

	売上高	比較増減
	百万円	%
平成 17 年 3 月期第 1 四半期	9,244	0.8
平成 16 年 3 月期第 1 四半期	9,317	-
（参考）平成 16 年 3 月期	46,954	1.8

（注）1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
2. 前四半期は工事進行基準を適用しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第 1 四半期の我が国経済は、民間設備投資は高水準を維持し、企業収益も改善がみられるとともに個人消費も堅調に推移しているものの、所得環境は厳しく公共投資は減少する等依然として景気は先行き不透明な状況にあります。

各事業の状況は以下のとおりです。

観光事業は主力のスパリゾートハワイアンズにおいては、6 月の空梅雨等による団体客等の減少の影響がありましたものの、首都圏を中心としたテレビCM等の販促活動やインターネットホームページ企画等により利用者増を図り、概ね前年実績を維持いたしました。

卸売業及び不動産事業につきましては、卸売業において燃料商事事業は石油の電力向け販売が減少する一方石炭単価の上昇並びに販売数量の増加により全体として売上高は増加したものの、企業再編により常磐食品酒類販売(株)が連結対象からはずれたことで前年実績を下回りました。不動産事業においては賃貸が堅調に稼働しているものの販売用不動産の売却が減少し売上高は前年実績を下回りました。

その他の事業につきましては、建設・土木事業において引続き公共投資が減少する厳しい環境のなか受注拡大等に向け注力した結果、地質基礎工業(株)並びに常興電機(株)2 社の連結除外がありましたものの売上高は増加いたしました。また製造関連事業において IT・デジタル家電関連の包装関連資材等が受注増となったこと、また鉄鋼機械関連は輸出が好調に伸びたことにより売上高は増加いたしました。

この結果、当社グループの売上高は、92 億 44 百万円（前年同期比 73 百万円、0.8%減）となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

業績は概ね当初予想通りに推移しており、現時点においては、業績予想の変更はありません。

業績の予想については、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上